

県内外で広がる住宅リフォーム制度 創設求める請願は残念ながら不採択 樋口議員が賛成討論

9月議会最終日、市内の建築関連業者団体などから出されていた「住宅リフォーム助成制度の創設を求める請願」は、賛成少数で否決されました。

上野議員の一般質問では、実現に向けた市長の積極的姿勢が示されましたが、残念ながら「ねじれ」のような形になりました。以下は樋口議員の賛成討論の要旨です。

日本共産党議員団を代表して、「住宅リフォーム助成制度」の創設を求める請願の採択に賛成討論を行います。

中小建設業者は、住宅・工場・事務所などの建設や、学校・道路などの社会的な資本整備を直接担い、市民生活や雇用・産業基盤を支える重要な役割を果たしています。

しかし、深刻な経済危機と未曾有の長期不況の下、市内

建設業者はかつて経験したことのない経済危機に追い込まれ、経営不振や、倒産などに追い込まれています。今、市がやるべきは、市内業者に対する仕事づくり、産業活性化に力を尽くすことです。

こうした中で中小建設業者の仕事起こしと地域経済の振興を図るため「住宅リフォーム助成制度」の創設・活用が全国の自治体で広がっています。

今年6月時点では30都道府県156自治体で実施されているほか、県内では、胎内市・十日町市など6市町に広がり、9月議会では糸魚川市・燕市でも実施が決まりました。

これは、この制度がどの市町村でも、中小業者など地元経済振興に大きな効果があることを示しています。

当市でも、多業種の業界団体から各議員への要請があったように、多くの市民が実現を望んでおり、議会でもこの請願を採択し、早期実施の力になるよう、全議員の賛同をお願いして、賛成討論といたします。

不適切処理含む修正不能な決算は認定できない

H22年度補正予算など全議案も可決して9月定例議会閉幕



日本共産党議員団を代表して、6議案への反対討論を行います。

まず21年度一般会計決算では、不適切な会計処理が行われたことが、出納閉鎖後に明らかになりました。

発注したものができあがる前に代金を支払ってしまったという地方自治法に抵触するものや、別の費目で支出したというものなど約110件、340万円にもなるものがあります。出納閉鎖後では不適切な処理を修正できません。それだけでも不認定とすべきです。

さて、国の悪政から市民の福祉と暮らしを守るべき市の決算として

2点目は学校給食の民間委託をさらにすすめ、人材派遣を含め、合計3校の調理現場に民間業者が入ったことです。偽装請負の疑念も払拭できていません。

3点目は県下最高の保育料です。低所得層の軽減率を増すなどの配慮があるとはいえず、全体として

介護保険特別会計も、同様に大幅な保険料の値上げを行いつつ、約2億7千万円もの黒字決算になっており、多岐に疑問です。サービス受給の負担の大きさから、必要なサービスを自粛しているという実態があることも見逃せません。

後期高齢者医療特別会

チェックすると、病児保育事業の実施、妊婦一般健康診査の公費負担回数拡充、子どもの通院医療費拡充、合併前上越市の地域協議会設置など、評価点がいくつもありません。しかし、不適切な会計処理以外にも見逃せない問題点があります。

1点目は経済対策です。中小企業への支援、雇用対策はそれなりの効果を上げましたが、総合的対策のための経済対策本部が7月21日以降開かれず、全体の総括も行われていません。

国民健康保険特別会計では、2年連続の保険税値上げで市民負担を増しながら約6億5千万円の黒字を出しています。予算の見通しに疑問を持たざるを得ず、認定できません。

以上から、日本共産党議員団は決算を認めることはできません。

上越市議会9月定例会は24日、51の議案すべてを可決、請願1件を不採択にして終了しました。日本共産党議員団は、このうち6議案に反対、45議案に賛成しました。平良木議員が行った反対討論の要旨です。

大きな市民負担です。最後の点は、指定管理者への市の担当課のチェックが不十分との点が、昨年に続き再び監査委員から指摘されたことです。

計は、この制度が年齢で一方的に区別して、それまで加入していた保険から追い出して別立ての保険に強制的に入らせるひどい制度であり、そうした差別的な制度を前提とする決算ですので、認められません。

最後に、診療所特別会計、病院事業会計では、診療所特別会計で支出すべきところを病院事業会計から流用するという不適切な会計処理が行われました。

これは地方公営企業法に明らかに抵触し、認定できないことは明らかです。以上です。

総括なき経済対策 給食民営化推進などの 問題点も指摘

平良木議員が6議案に反対討論

お詫びと訂正

当ニュースNo.249の記事中、見出しが「私道整備事業は共通事業」とするのは「私道整備事業は地域事業ではない」と訂正します。この事業は「共通事業」や「地域事業」に含まれないものです。この場をお借りし、お詫びし訂正します。



日本共産党上越市議員団ニュース

No.252 2010年10月10日

- 連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 525-9096 (上中田)